

競技注意事項

1. 規則

競技は2025年（公財）日本陸上競技連盟競技規則による。

2. 練習

- ・会場への投擲物の持ち込みは禁止とする。
- ・フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- ・競技場の開門は競技役員7：00、選手・引率は7：30とする。

3. 競技場とスパイクの使用

- ・競技場は全天候型である。
- ・使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。
- ・土用ピンの使用は禁止する。
- ・先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。

4. 招集

- ・競技者（トラック競技）は、招集所へプログラム記載の一次招集時間内に行くこと。トラック種目については、その後腰ナンバーを配布する。（リレー競技は第4走者のみ）
- ・競技者は、プログラム記載の現地集合完了時刻までに、スタート地点または競技場所に集合する。荷物は各自で管理すること。
- ・リレー競技については、リレーオーダー用紙を時間内に提出し、招集時間内に4人そろって招集所で招集を受ける。
- ・競技の重なるの都合で、2種目目の招集を1種目目と同時にする場合は、招集所で競技者係に申し出れば、招集を認める場合がある。

5. 入退場

- ・トラック競技は、レース終了後、腰ナンバーを招集所へ戻すこと。
- ・フィールド競技は、競技終了後競技役員の指示で退場する。

6. アスリートビブス

- ・アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定（2025年度）のJAAF登録されたものを使用する。
- ・アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 最初の高さのバーの上げ方

走高跳・棒高跳における、バーの上げ方は次の通りとする。

	練 習	競 技	
男子走高跳	1m15cm 1m35cm 1m55cm	1m20cm～1m70cm まで 5cm ずつ	以降 3cm ずつ
女子走高跳	1m05cm 1m20cm 1m35cm	1m10cm～1m45cm まで 5cm ずつ	以降 3cm ずつ
混成競技	1m00	1m00 以降 3cm ずつ	
男女棒高跳	気象条件などを踏まえ、跳躍審判の指示に基づく		

8. 3000mのスタート方法、給水について

3000mにおいてグループスタートを採用する場合のスタート方法は、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、その際スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。〔TR17. 5. 2〕また、気象条件によっては、バックストレートで給水を行う。

9. オープンレーンについて

男女800m競走は、ブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱を置く〔TR17. 5. 1〕

10. リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を招集所で受け取り、必要事項を記入した上で、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出しチーム編成を申告する。一度申告したらその後の変更は、その組の招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り、認められない。〔TR24. 12〕
- ・リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。〔TR5. 1〕
- ・リレーのマーカーの使用は規定の長さの粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーン内に貼ることができる。〔TR24. 4〕マーカーは各チームで用意する。

11. 計時

- ・競走競技はすべてのトラック種目のレースにおいて写真判定を採用する。

12. 不正スタートについて

- ・不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。

1 3. 用器具

- ・器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- ・棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。

1 4. フィールド競技について

- ・走幅跳、砲丸投、円盤投は3回の試技とする。記録上位8名がトップ8へ進出し、さらに3回の試技を認める。
- ・録画再生機器や録画映像は、録画映像を提供するものの近くの位置であれば競技区域に持ち込むことが認められる。〔TR 6. 4. 5〕ただし、走幅跳以外のフィールド競技は安全面を考慮し適用しない。

1 5. 抗議

- ・発表された結果に対する抗議は、正式発表後(15 分以内)に各顧問が総務を通じて審判長に対して口頭で行う。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、総務に文書で申し出る。

1 6. その他

- ・記録の発表は、アナウンスと記録の掲示で行う。
- ・各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- ・ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- ・プログラムの記載事項の訂正については、8:00までに、本人または代理人が本部へ届け出ること。エントリー変更は認めない。
- ・競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- ・スタートの時は静かにし、競技の妨げにならないように注意すること。
- ・競技終了後、競技場を練習場所として開放する。全競技が終了するまでは練習はしない。
- ・芝生へは、競技運営上必要のある時以外は立ち入らない。
- ・選手は競技場内でのスマートフォン等の電子機器は使用不可。また、学校部活動の一環であることから、陣地や競技場外での使用も相応しくない。